

平成 16 年度 病害虫発生予察情報 注意報 第 2 号

病害虫名： コナガ

対象作物： アブラナ科作物

1. 注意報の内容

- (1) 対象地域 都内全域
- (2) 発生量 多
- (3) 発生時期 6～7月

2. 注意報発令の根拠

- (1) 5月中旬の巡回調査におけるキャベツ10株当たりの幼虫・蛹数は、過去7年の平均値7頭に対し12頭と多かった。
- (2) フェロモントラップへの誘殺数は過去15年の同時期の調査と比べて最も多い（図1）。
- (3) 気象予報によれば向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か多いと予想されるため、発生は継続することが予想される。

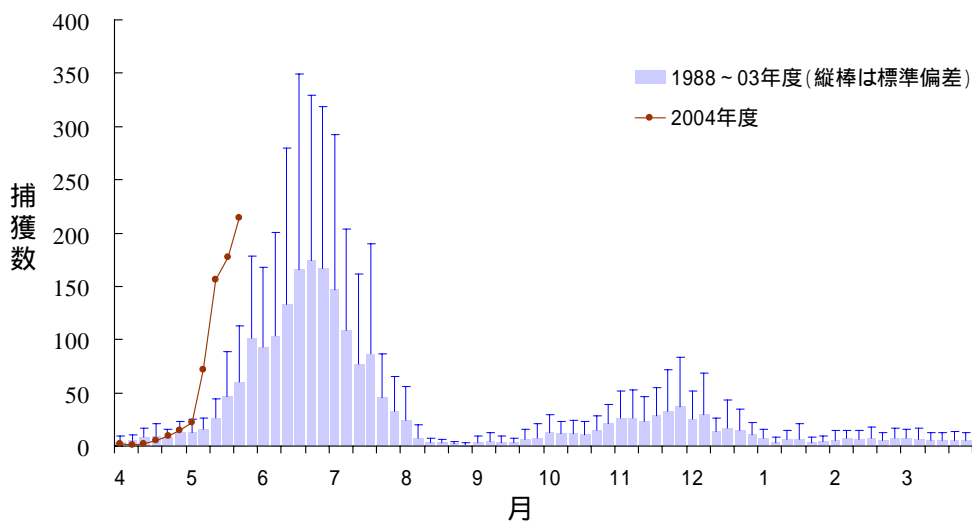


図1 コナガ発消長（立川市）。

3. 防除対策

- (1) 未収穫物や残さを早急に地中に埋めるなど適切な処分を行う。
- (2) 育苗期の防除を徹底して行う。
- (3) 本圃への播種時または定植時に粒剤施用を行う。
- (4) 表1に一部の薬剤を示したが、平成16年度版防除指針を参考に防除する。また、薬剤抵抗性の発達を回避するため、作用機作の異なる薬剤をローテーション散布する。
- (5) 生育初期には天敵類に影響の少ないBT剤、IGR剤、ネオニコチノイド剤などを使用し、保護に努める(表1)。

表1 主な防除薬剤の例 (A:非結球アブラナ科葉菜類・B:キャベツ)

薬剤名	薬剤の系統	使用回数	使用時期		使用量 / 希釈倍率	
			A	B	A	B
ガードシット水和剤*	BT	4	発生初期	但し前日迄	1000 ~	2000*1
ゼンターリ顆粒水和剤*	BT	4	発生初期	但し前日迄	1000 ~	2000*1
カスケード乳剤*	IGR	2	7日前	14日前	2000	2000-4000
ノーモルト乳剤*	IGR	2		7日前		2000
アクタラ粒剤5	ネニコチノイド*	1		育苗期後半		2g/株
モスピラン粒剤*	ネニコチノイド*	1	は種時*2	定植時	3kg/10a	1~2g/株
アフーム乳剤*	他	3	7日前*3	7日前	1000-2000	1000-2000
コテツフロアブル*	他	2		7日前		2000
スピエース顆粒水和剤*	他	3		3日前		2500-5000
アディオオン乳剤	合成ピレスロイド*	5		3日前		2000
トレボン乳剤*	合成ピレスロイド*	3		3日前		1000-2000
オンコル粒剤5	カーバメート	1		定植時		1~2g/株
ガゼットMC70アブル	カーバメート	2		7日前		1000
アクテリック乳剤	有機リン	4		7日前		500-1000
オルトラン水和剤	有機リン	3		7日前		1000-2000

*印は桑園の近くで使用してはなりません。

*1 野菜類での登録。

*2 チンゲンサイを除く。

*3 のざわな・チンゲンサイ・コマツナを除く。

.....

防除所ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/tokyo>
 テレフォンサービス 042 (525) 8407
 今後の予察情報にご注意下さい。
 E-mailアドレス S0200303@section.metro.tokyo.jp